

2015
1.1

市報

ひがしまつしま

復興がさらに進む

2015年がスタート

新春特集 東松島の魅力を伝える皆さんに聞く

ゆっくり昇り始めた朝の光がJR仙石線の陸橋に反射して、きらきらと輝いています。この線路が伸びる東方では、野蒜北部丘陵団地に移設される新しい東名駅と野蒜駅の整備が進んでおり、駅舎の形も見えてきました。震災後、一部不通の状態が続いていた仙石線ですが、今年、2015年(平成27年)6月にはいよいよ全線開通します。

今年、東松島市の復興まちづくりは4年目に入り、各事業はさらなる前進へと拍車がかかります。市民の皆さんがより豊かで安全、安心に暮らせる環境整備が図られる1年に期待が高まります。

今号では新春特集として、東松島ふるさと復興大使や震災後、市内に移住し地域に溶け込んで活動している皆さんにスポットを当て、その取り組みや新年の抱負などを紹介します。



写真…朝日に照らされる仙石線東名工区の新線路コンクリート陸橋。写真左奥では高台移設する新しい東名駅、野蒜駅の建設工事が進んでいます

市報
ひがし
まつしま
No.162

- 新春特集 東松島の魅力を伝える皆さんに聞く ----- P2~P4
- 平成26年 東松島市市政功労者表彰を紹介 ----- P5
- 平成27年度 市・県民税申告のお知らせ ----- P6・P7
- まちの情報広場 ----- P8
- City View ----- P10~P11
- 知っ得情報 ----- P14~P17
- 戸籍のまどほか ----- P19
- 市民協働のまちづくり ----- P9
- もっと知りたい!ひがしまつしま ---- P12~P13
- ヘルシーインフォメーション ---- P18
- 市民のカレンダー ----- P20



東松島市キャラクター イート&イーナ (右) (左)



サツキ SATSUKI さん

「ChooChooTrain」などのヒット曲で知られるダンスボーカルユニット「ZOO」のメインボーカルを担当。平成24年10月に東松島市内でのイベントに出演したことが縁で、市内のイベントや海浜清掃のボランティアなどに参加。26年6月にふるさと復興大使に任命された。現在は子どもたちの心のケアを念頭に置き、市内で積極的に活動を展開している。

Q 子どもたちの心のケアに尽力されていますが、その動機は。
—震災の影響で子どもたちを取り巻く家庭・学校環境は大きく変化しました。それを乗り越えてきた子どもたちには自分でも気付かないストレ

スが溜まっているように私の目には映りました。どうにかできないかと思ったのがきっかけです。
Q 具体的にどのような手法で心のケアを行っていますか。
—踊って自分を表現することで、心の内にあるモヤモヤした気持ちを思いっきり出してもらおうと、市内の子どもたちを対象にダンススクー

ルを開催しています。また津波で大きな被害を受けた浜市地区に農園を設け、子どもたちに農作業を体験してもらおう「東松島nottarriキッズ

Q 最後に市民の皆さんへのメッセージをお願いします。
—今年も一歩一歩、市民の皆さんとともに手を携え、新たなまちづくりに向けて歩んでいきたいと思えます。どうぞ今年もよろしくお願

いいたします。
Q 復興大使に任命された時のお気持ちはいかがでしたか。
伊藤さん それはもう、生まれ育ったふるさとに役に立てるといことがとてもうれしかったですね。
石垣さん ふるさとのために僕たちができることがあるなら「お笑い」に限らず、何でもしますという感じです。

Q 東松島市をどのように広めていきたいですか。
伊藤さん まずは全国の皆さんに東松島市に足を運んでいただけるよう、僕たちがきっかけ作りできれば、なんて思いつながら全国でライブ活動をしています。
石垣さん おいしい食べ物がたくさんありますからね。どんどんPRしていきたいです。「一度、東松島に食べに来

て、今以上に活躍していく必要があります。
Q 今の東松島は、どのように映りますか。
石垣さん もちろん復興はまだまだこれからだと思いますが、市民の皆さんはもう前を向いて歩き始めているように思います。
伊藤さん それにしても、首都圏では「震災は大昔のこと」みたいになっています。だから風化させないためにも、ライブで「東松島に来て、現地を知ってください」と呼びかけるようにしています。
Q 今年の抱負と市民の皆さんへのメッセージをお願いします。
石垣さん さらに一歩前進して、皆さんが自慢できる「ニードル」としてプレミアムな帰郷をします。そして復興に向けて僕たちらしい力添えをしていければと思います。
伊藤さん 今年も皆さんとともに「次に向けて」少しずつ、でも確実に歩んでいきたいです。そして、ガンツと有名になっただあつきには、僕らの力で…
石垣さん もう一度、野蒜築港を復活させます！
伊藤さん 無理だろ(笑)ーそして何十年前の話だよ。いや、そうじゃなくてね、さらに活気あふれる古里にしていきたいです。
石垣さん そう、そうですね。なので皆さん、今年も私たち「ニードル」をよろしくお願

東松島市では、一口も早いまちの復興の実現を目的に、各界で活躍する本市出身者や本市にゆかりのある方々を「東松島ふるさと復興大使」(以下、復興大使)に委嘱しています。現在、2組3個人がそれぞれの活動を通して、震災の風化防止とともに、東松島の魅力や市民の元気を発信しています。復興大使の皆さんから東松島への熱い思いや今年の抱負などを伺いました。

ダンスや農作業で心のケア

Q 復興大使に任命されたときの気持ちは。
—正直言って、すごく悩みました。市民でない私でもいいのかなど。でも、それによつて震災で心に傷を負った子どもたちと接する機会が増えるのであれば、引き受けようと思えました。

Q 具体的にどのような手法で心のケアを行っていますか。
—踊って自分を表現することで、心の内にあるモヤモヤした気持ちを思いっきり出してもらおうと、市内の子どもたちを対象にダンススクー

ルを開催しています。また津波で大きな被害を受けた浜市地区に農園を設け、子どもたちに農作業を体験してもらおう「東松島nottarriキッズ

Q 最後に市民の皆さんへのメッセージをお願いします。
—今年も一歩一歩、市民の皆さんとともに手を携え、新たなまちづくりに向けて歩んでいきたいと思えます。どうぞ今年もよろしくお願

いいたします。
Q 復興大使に任命された時のお気持ちはいかがでしたか。
伊藤さん それはもう、生まれ育ったふるさとに役に立てるといことがとてもうれしかったですね。
石垣さん ふるさとのために僕たちができることがあるなら「お笑い」に限らず、何でもしますという感じです。

Q 東松島市をどのように広めていきたいですか。
伊藤さん まずは全国の皆さんに東松島市に足を運んでいただけるよう、僕たちがきっかけ作りできれば、なんて思いつながら全国でライブ活動をしています。
石垣さん おいしい食べ物がたくさんありますからね。どんどんPRしていきたいです。「一度、東松島に食べに来

て、今以上に活躍していく必要があります。
Q 今の東松島は、どのように映りますか。
石垣さん もちろん復興はまだまだこれからだと思いますが、市民の皆さんはもう前を向いて歩き始めているように思います。
伊藤さん それにしても、首都圏では「震災は大昔のこと」みたいになっています。だから風化させないためにも、ライブで「東松島に来て、現地を知ってください」と呼びかけるようにしています。
Q 今年の抱負と市民の皆さんへのメッセージをお願いします。
石垣さん さらに一歩前進して、皆さんが自慢できる「ニードル」としてプレミアムな帰郷をします。そして復興に向けて僕たちらしい力添えをしていければと思います。
伊藤さん 今年も皆さんとともに「次に向けて」少しずつ、でも確実に歩んでいきたいです。そして、ガンツと有名になっただあつきには、僕らの力で…
石垣さん もう一度、野蒜築港を復活させます！
伊藤さん 無理だろ(笑)ーそして何十年前の話だよ。いや、そうじゃなくてね、さらに活気あふれる古里にしていきたいです。
石垣さん そう、そうですね。なので皆さん、今年も私たち「ニードル」をよろしくお願



ニードル

伊藤政仁さん(左・上下堤出身・ボケ担当)と石垣進之介さん(右・浜市出身・ツッコミ担当)によるお笑いコンビ。旧鳴瀬第一中学校の同級生で、地元の方言を交えたテンポのいい漫才を持ち味としている。第3回仙台お笑いコンテスト2011で優勝。平成26年1月には東松島ふるさと復興大使に任命され、全国に「笑い」を届け続けている。

知名度を高めてふるさとに貢献

て、今以上に活躍していく必要があります。
Q 今の東松島は、どのように映りますか。
石垣さん もちろん復興はまだまだこれからだと思いますが、市民の皆さんはもう前を向いて歩き始めているように思います。
伊藤さん それにしても、首都圏では「震災は大昔のこと」みたいになっています。だから風化させないためにも、ライブで「東松島に来て、現地を知ってください」と呼びかけるようにしています。
Q 今年の抱負と市民の皆さんへのメッセージをお願いします。
石垣さん さらに一歩前進して、皆さんが自慢できる「ニードル」としてプレミアムな帰郷をします。そして復興に向けて僕たちらしい力添えをしていければと思います。
伊藤さん 今年も皆さんとともに「次に向けて」少しずつ、でも確実に歩んでいきたいです。そして、ガンツと有名になっただあつきには、僕らの力で…
石垣さん もう一度、野蒜築港を復活させます！
伊藤さん 無理だろ(笑)ーそして何十年前の話だよ。いや、そうじゃなくてね、さらに活気あふれる古里にしていきたいです。
石垣さん そう、そうですね。なので皆さん、今年も私たち「ニードル」をよろしくお願

復興への前進をお手伝い

C.W. ニコルさんからのメッセージ

新しい年を迎えました。

皆さんはさまざまな場所でいろいろな想いをもって、この正月をお過ごしでしょう。

震災から4年目となりましたが、私はこれまでの皆さんの努力に心から敬意を表したいと思います。

3年前に皆さんから託された野蒜エリア「復興の森」はたくさんの方の協力で暗く荒れた状態から陽が差し込む森へと変わりつつあります。そしてさまざまな植物も顔を出し、すくすくと育っています。一昨年に制作したツリーハウスもすっかり子供たちの野外活動の拠点となりました。

昨年は海を一望できる馬のひづめを模した展望デッキも完成しました。

この森が子どもたちや皆さんの笑顔で溢れることを願っています。このたび私は「東松島ふるさと復興大使」を拝命いたしました。

微力かと存じますが、この美しい東松島の自然をこれからも皆さんと一緒に磨いて、日本一、いえ世界に誇れる東松島市となるようお手伝いをさせて頂きたいと思っています。

今年が皆さんにとって幸多い日々でありますよう心からお祈りいたします。



C. W. ニコルさん

英国ウェールズ出身。東松島市では、震災直後から復興支援活動を行い、26年10月に野蒜地区の復興の森に「うまのひづめ展望デッキ」を設置するなど、美しいふるさとづくりに力を注いでいる。

東松島ふるさと復興大使とは

東松島市にゆかりのある人たちに東日本大震災からの復興状況などを広くPRしてもらうため平成25年度に創設されました。

活動は、それぞれの立場や得意分野などで本市の応援および情報発信を積極的に行うもので、任期は委嘱日から3年。必要に応じて更新することができ、東松島市復興まちづくり計画の期間である平成32年度末を限度としています。

大使の定数は特に設けず、必要に応じ随時、委嘱することとしています。現在の復興大使は次の皆さんです。(平成27年1月現在)

- 東松島市キャラクター イート&イーナ(平成26年1月～)
 - お笑いコンビ 「ニードル」伊藤政人さん、石垣進之介さん(平成26年1月～)
 - 歌手 SATSUKI さん(平成26年6月～)
 - 歌手 立花英樹さん(平成26年8月～)
 - 作家 ナチュラリスト C.W. ニコルさん(平成26年10月～)
- 問 総務課秘書広報班 ☎内線1212



ボクたちイート&イーナも復興大使として頑張ります!

立花英樹さんからのメッセージ

東松島の皆様、明けましておめでとうございます。この度、ふるさと復興大使になりました演歌歌手の立花英樹です。東日本大震災からもうすぐ四年になりますが、私の目で見ても復興に本当に時間がかかっていると思います。一日も早く皆様に本当の笑顔が戻る事を祈りつつ私も仮設住宅などを廻りながら勇気と元気と笑顔をお届け致しております。そして東松島市のPRやボランティア活動にもっともっと力を入れ、頑張っ大使を務めさせて頂きたいと思っておりますので、どうか宜しくお願い致します。さて、東松島もこれからもっと寒さが厳しくなります。仮設住宅にお住まいの皆様におかれましても大変なご苦労があると思いますが、持ち前の東北魂で頑張っ頂きたいと思ひます。そして寒さが終われば春がやって来ます。前に向かって共に一歩ずつ進んで行きましょ!私も一所懸命頑張ります。また東松島でお会い致しましょ。

頑張っます東松島!



たちばな ひでき
立花英樹さん

鹿児島県出身。平成24年に東北復興支援ソング「あゝ上野駅」をリリース。東松島では、仮設住宅集会所などでの慰問コンサートを通して、地域に元気を届けている。



イギリス・ロンドンから移住
鶴岡信太郎さん
小平裕子さん
夫妻

鶴岡さん(上の写真左)は昭和53年9月生まれ、愛知県春日井市出身。小平さん(上の写真右)は昭和56年5月生まれ、東京都文京区出身。ともにイギリス登録の建築家の資格を持つ。イギリス在住時から知り合いだった2人は東松島市での活動開始後、結婚。25年3月に誕生した長男の信平ちゃん(上の写真中央)と3人で市内に暮らしている。

Q 東松島市に移住したきっかけを教えてください。

鶴岡さん 震災時はロンドンに住んでいましたが、都市計画や建築設計の仕事で被災地にできることがあるだろうと思いい、平成23年11月に帰国しました。東北に縁がなく、知り合いを頼ってたどりついたのが東松島市でした。

小平さん 私も震災時、ロンドンに留学中で、ロンドンと被災地の子どもを結び付ける企画を進めていました。こちらに来たのは企画が一段落した25年の初めごろ。大曲の子どもを対象にしたワークショップのお手伝いです。

より心温かく住みやすいまちに



▲研修生受け入れのためバンダアチエ市を視察する鶴岡さんと小平さん

Q こちらではどのような仕事をしていますか。

鶴岡さん 2人とともに一般社団法人東松島みらいとし機構(以下、HOPE)のスタッフです。当初は復興まちづくりのワークショップなど自分のできることをしていました。が、25年3月にインドネシア共和国バンダアチエ市職員の研修をHOPEで受け入れることになり、英語を話せる私たちが担当になりました。そ

れを通じて、東松島市に詳しくなりました。

Q 東松島市の良いところはどこでしょうか。

小平さん 暮らすにはちょうどいい規模のまち。空が広く、夜空の星がきれいです。それに、農家や漁業者がいきいきしています。

鶴岡さん ビルで働く都会と違って、人が仕事をしているのを直接的に見ることができません。仕事風景の一部になっていて、社会のつながりを感じられます。

Q 将来、どんなまちになってほしいですか。

鶴岡さん 若い人が元気なまち、私たちのように外から来る人を温かく受け入れてくれる地域であってほしいと願います。

縁あって東松島に移住

～人と自然の豊かさが魅力です～

震災後、市内には復興支援などがきっかけで市外から移り住んだ方が多くいます。その中で、東松島みらいとし機構(愛称:HOPE)のスタッフの鶴岡信太郎、小平裕子夫妻と森林保全活動に取り組む関口英樹さんから東松島の魅力などを伺いました。

Q 東松島市に移住した理由を教えてください。

—平成23年5月から東京都大田区のボランティアとして毎週通っていました。泥かきやがれき撤去で体を動かし、市民の皆さんとふれあう中でまことに愛着が湧き、もともと皆さんの役に立ちたいという思いで26年6月に移住しました。

Q 主にどのような活動に取り組んでいますか。

—森林保全活動を行うために知人が25年に東松島市で立ち上げた「フリース合同会社」に勤務し、主に宮戸、野蒜地区で活動しています。

Q 東松島の魅力は。—自然に恵まれた景観

支援通して地域に愛着

の素晴らしい地域だと思います。特に宮戸地区の大高森から眺める大海原は圧巻です。それと航空自衛隊松島基地のブルーインパルスも魅力の一つですね。子どもの頃から飛行機が好きで、ブルーインパルスが飛行しているところを見るのが夢だったので、かなったことに満足しています。

Q 今年の抱負と今後の目標は。

—今年には震災から4年目となり、支援の形も変

わってくる年だと思えます。私にできることは環境保全という仕事を通して市民の皆さんとともに前へ歩むこと。私自身もボランティアという気持ちではなく、東松島市民の一人として、希望あふれるまちの未来を考えると、そんな年にしたいです。

Q 希望あふれる未来に向けて大切なことはなんですか。



▲朽木の伐採作業に取り組む関口さん

—次代を担うのは地域の子どもたちです。子どもたちがのびのびと成長し、それぞれの夢に真っすぐに進んでいける土台作りが大切です。し、それが私たち大人の役目だと思えます。とにかく「皆と一緒にがんばりましょう」という気持ちです。



おた 大田区から移住

関口英樹さん

昭和43年6月生まれ。東京都大田区出身。震災直後は、がれき撤去などのボランティアとして活動。平成26年6月に東松島市に移住し、現在は復興支援事業を展開する「フリース合同会社」の一員として、地域の環境保全活動に尽力している。

復興まちづくりをすすめる市政発展の功績を讃える

平成26年東松島市市政功労者表彰を紹介

11月15日(土)、平成26年市政功労者表彰式が、市コミュニティセンターを会場に開催されました。今年度の表彰式には、来賓をはじめ関係者など、およそ180人が参加。阿部市長から41個人と1団体に市政功労表彰状が、16個人に市政功労感謝状が手渡されました。ここでは、表彰式で受賞された皆さんと、各種叙勲受章者、褒章受章者および県知事表彰受章者を紹介します。

※掲載順／氏名(または団体名)(役職など／行政区等)
※敬称・読みがなは省略します。また、行政区等については、住民登録地の行政区等を表記しています。



市政功労表彰受賞者

- 【自治功労】12人
 - ▼佐藤一雄(元市行政区長／横沼二)
 - ▼佐藤充信(市行政区長／往還上)
 - ▼内海國雄(同／大塚)▼齋藤雅昭(元市地区センター長／新川前)▼佐藤秀俊(市地区センター長／南四)
 - ▼宮崎哲士(同／南新一)▼鈴木希夫(元市地区センター長／柳上)▼千葉伸芳(市地区センター役員／駅前)
 - ▼齋藤憲助(元市地区センター役員／松島町)▼吉田悦郎(市地区センター役員／南三)▼佐々木寿晴(元市地区センター役員／小松台)▼石垣浩幸(地区自治会役員／表)
- 【産業功労】1人
 - ▼安倍民夫(市農業委員／往還下)
- 【教育文化功労】3人
 - ▼齋藤英彦(市教育委員会委員長／御下)▼大山道保(市スポーツ推進委員／大塚)▼小野尚子(同／石巻市)
- 【民生安定功労】4人・1団体
 - ▼熊谷多喜子(元民生委員児童委員／下町二)▼及川慶子(同／関の内)

- ▼土井日出子(同／下浦)▼櫻井よし子(同／肘曲)▼G・うさぎ(朗読ボランティアグループ)
- 【保健衛生功労】2人
 - ▼松岡信雄(市環境衛生推進員／大塚)▼三浦和幸(献血回数100回以上／筒場)
- 【建設功労】3人
 - ▼栗石堅持(市土木委員／川下)▼鈴木博(同／大塚)▼尾形将親(元市土木委員／里南)
- 【消防防災功労】9人
 - ▼伊澤至(市消防団分団長／東名)▼高橋秀喜(同／往還下)▼夷塚直也(市消防団副分団長／表)▼木村亮一(市消防団部長／立沼)▼千葉茂雄(同／貝殻塚二)▼伊藤豊(同／根古)▼渥美耕志(同／中東)▼熊谷和郎(同／下町二)▼小山誠(同／中下)
- 【治安功労】2人
 - ▼大場正二(市交通安全指導隊班長／小野下)▼土井ひとみ(市交通安全指導隊員／上下堤)
- 【産業特別功労】1人
 - ▼石垣久第66回(平成26年)志波彦神社・塩竈神社奉獻乾海苔品評会優賞／小野下)
- 【教育文化特別功労】4人
 - ▼阿部誠(第30回日本ジュニア陸上競技選手権大会(混成競技)男子十種競技優勝／中)▼佐藤駿(第86回選抜高等学校野球大会に東北代表として出場した八戸学院光星高等学校の一員としてベスト16入り／柳北)▼児玉美奈(船越義珍杯第13回少年世界空手道選手権大会15歳女子組手準優勝／中)▼児玉真依



受賞者の皆さんへ阿部市長より表彰状が手渡されました

市政功労感謝状受賞者

- 【行政区協力員】12人
 - ▼千葉とも子(上町一)▼飯塚教司(河戸)▼菅原忠夫(河戸)▼土居新次郎(東大溜)▼佐々木義久(下町四)▼佐藤省吾郎(下町五)▼浅野典夫(沢田)▼伊藤浩之(横沼一)▼阿部新平(筒場)▼和泉田まさ子(南二)▼加藤武夫(南二)▼内海孝一(浅井)
- 【地域の通学路及び公共施設周辺の清掃活動等に積極的に取り組み地域の環境美化に寄与】2人
 - ▼日野稔(上町一)▼阿部清悦(下浦)
- 【平成26年4月30日、赤井堀に転落した男性を救助】2人
 - ▼鈴木雅和(関の内二)▼海馬浩平(往還下)

各種叙勲受章者

- 平成26年 春の叙勲受章者
 - 【旭日双光章】1人
 - 齋藤稔男(元矢本町議会議員／照井)
- 平成26年 秋の叙勲受章者
 - 【瑞宝単光章】2人

- ▼阿部賢一(元市消防団団長／照井)
- ▼尾形肇(元統計調査員／里南)
- 高齡者叙勲受章者
 - 【瑞宝双光章】2人
 - ▼横山俊一(元公立中学校校長／小野下)▼土井健吾(元公立小学校校長／南新一)

平成26年春の褒章受章者

- 【藍綬褒章】1人
 - ▼林崎精一(元統計調査員／小野上)
- 【県知事表彰受賞者】
 - 平成25年文化の日県知事表彰受賞者
 - 【教育文化功労】1人
 - ▼遠谷良雄(市立学校学校歯科医／石巻市)
 - 平成26年文化の日県知事表彰受賞者
 - 【地方自治功労】1人
 - ▼上田勉(市議会副議長／関の内二)
 - 【教育文化功労】1人
 - ▼須田信之(元市立学校学校歯科医／石巻市)
 - 【民生安定功労】1人
 - ▼加藤京子(元民生委員児童委員／前里)
 - 【消防防災功労】1人
 - ▼櫻井正(市消防団副団長／鹿妻一)

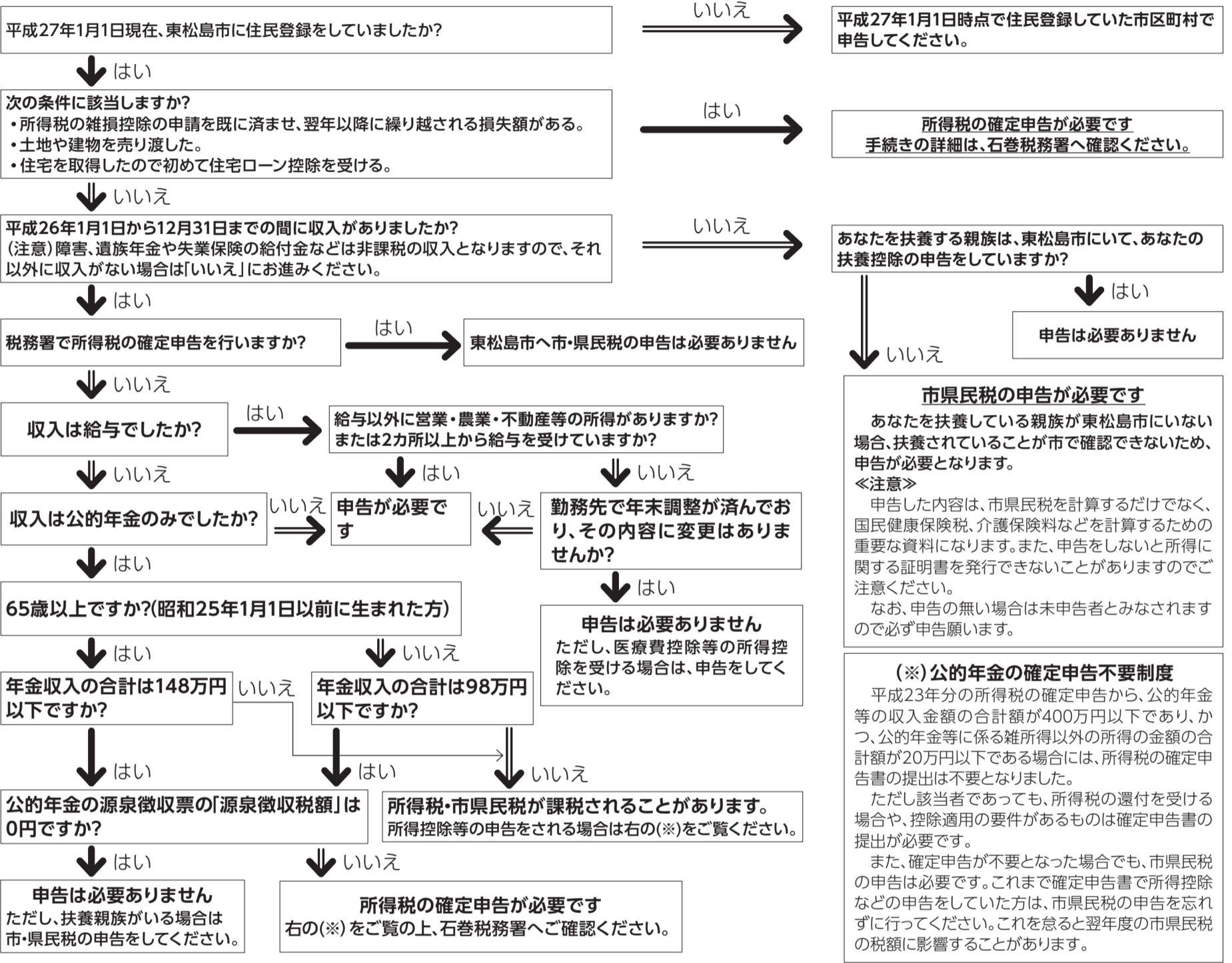
平成27年度 市・県民税申告のお知らせ

申告受付は2月3日(火)から3月16日(月)まで

例年、申告会場が混雑し、市民の皆さんには大変ご迷惑をおかけしております。昨年に引き続き、震災関連の相談が増えることが予想され、それに伴い、一人あたりの相談時間が長くなり通常よりお待ちいただくこととなりますので、期日には余裕をもって申告されるようご協力願います。

“私は申告が必要ですか？” 申告確認フローチャート

下の図を参考に申告が必要と思われる方は、期限内に忘れずに申告をお願いします。



所得税及び復興特別所得税の還付申告はお早めに

次に当てはまる方などで、源泉徴収された税金等が納め過ぎになっている場合には、税務署に対し還付を受けるための申告(還付申告)をすることにより税金が還付されます。

- 【例】 ①前年で引ききれなかった東日本大震災による雑損控除の繰り越しをしている方など
 【必要書類】源泉徴収票、前年分の確定申告書等の控えまたは更正の通知書など
 ②多額の医療費を支払った方
 【必要書類】源泉徴収票、医療費の領収書など
 ③マイホームを住宅ローンなどで取得した方
 【必要書類】源泉徴収票、家屋および敷地等の請負(売買)契約書の写し、住民票の写し、家屋および敷地等の登記事項証明書、住宅取得資金に係る借入金の年末残高証明書など
 ④年途中で退職した後、再就職をしなかった方など
 【必要書類】源泉徴収票など

※給与所得者で確定申告の必要がない方が還付申告をする場合は、その他の各種所得(退職所得を除く)も申告が必要です。

税務職員を装った者からの不審な電話にご注意ください

国税局や税務署の職員を名乗る者からアンケートや年金受給調査と称して、年齢や家族構成、年金の受給状況、預金残高、口座情報などの個人情報を聞き出そうとする事例が多発しています。

不審な電話があった場合には、即答を避け、①相手の所属部署、②氏名、③電話番号を確認した上で一旦電話を切り、最寄りの税務署に問い合わせください。

■問 石巻税務署総務課 ☎0225-22-4151
 ※自動音声案内に伴い「2」番を選択。

確定申告Q&A

- Q. 所得税及び復興特別所得税の還付申告はいつからできるの。
 A. 還付申告については、税務署において平成27年2月13日(金)以前(平成27年1月5日(月)～)でも行えます(ただし、税務署の閉庁日(土・日曜・祝日など)は、税務署では相談および申告書の受付は行っていません)。
 Q. 平日は仕事で行けないのですが。
 A. 税務署は通常、土・日曜および祝日などは業務を行っていませんが、平成27年2月22日

- (日)と3月1日(日)に限り申請相談窓口を開設します。
 Q. 数カ月だけアルバイトをしましたが、それでも確定申告をしなければなりませんか。
 A. アルバイト先から年末調整後の源泉徴収票をいただいたのであれば、申告の必要はありませんが、そうでなければ収入の多少に関わらず、アルバイト分の申告が必要です。ただし、所得税の納付または還付が発生しなければ、市・県民税申告になります。

市・県民税申告受付日程表 (行政区等別会場割当表)

受付月日	会場	午前	午後
		受付時間(9時~11時) ※各申告会場の開場時間は8時30分です。 ※受付可能人数(100人程度)を超えた場合は受付時間を早めに締め切ることもありますのでご了承ください。 なお、午前に割当された行政区の方で午前に受付出来なかった場合は当日の午後など他の日程で申告してください。	受付時間(13時~15時) 午後の受付札の配布については、午前の受付状況をみながら、12時を目安に配布します。
2月	3日(火)	新川前、南新一	南四、南五、南六
	4日(水)	南一、南二	南三、南緑、南新二
	5日(木)	柳北	柳下、柳西、横関、柳上
	6日(金)	照井、御下、中東	寺、六槍、八幡、裏
	9日(月)	塩入、中	小分木、大島、裏一、裏二
	10日(火)	表	(移動日のため受付休止)
	12日(木)	横沼東、下浦	横沼西、横沼一
	13日(金)	関の内地区センター	五味倉、関の内二、関の内三
	16日(月)	(関の内地区学習等供用施設)	貝殻塚一、貝殻塚二、南浦宿舍
	17日(火)	横沼二、関の内一	(移動日のため受付休止)
	18日(水)	宮戸市民センター	里北、里南
	19日(木)	野蒜市民センター	大塚、中下
	20日(金)		(移動日のため受付休止)
	23日(月)	高松、根古	西福田上、西福田下、新田
	24日(火)	小野上	小野下
25日(水)	小野市民センター	川下、浅井	
26日(木)	肘曲、上下堤	往還下	
27日(金)	平岡	(移動日のため受付休止)	
3月	3日(火)	上小松、沢田、手招	前里、下小松、前柳
	4日(水)	鹿妻一、鹿妻二	道地、谷地、立沼
	5日(木)	小松台、北区官舎、駅前	下町一、下町二
	6日(金)	下町三	下町四、下町五
	9日(月)	東大溜	大溜、若葉
	10日(火)	東松島市役所 2階 202会議室	上河戸二、上河戸四
	11日(水)	上河戸三	上河戸一
	12日(木)	上河戸一	四反走、西新町
	13日(金)	上町一、上町二、上町三	小松南、河戸
	16日(月)	二反走	あおい一
行政区割当日に申告できない方			

※夜間および土・日曜、祝日の申告受付は行っていません。

注意: 上記の日程表にある最寄りの申告会場で申告してください。該当地区の日程で都合が悪い場合は、日程表にある他の受付日・会場で申告してください。なお、**税務課窓口**や**鳴瀬総合支所**での申告受付は行っていません。
また、震災による雑損控除の申告などにより、2~3時間の待ち時間が予想されますので、あらかじめご了承ください。

石巻税務署から「所得税等の確定申告」のお知らせ

石巻税務署では、隣接のプレハブ庁舎に所得税等の確定申告書作成会場を設置し、申告相談を行います。

■開設期間 2月3日(火)~3月16日(月)

※土・日曜、祝日を除く平日のみ。2月22日(日)と3月1日(日)は開設します。

■開設時間 9時~17時 ※受付は16時まで。

〈国税庁ホームページ内「確定申告書等作成コーナー」のお知らせ〉

国税庁ホームページ内の「確定申告書等作成コーナー」は、案内に従って金額などを入力すれば確定申告書等を作成・印刷することができます。印刷した申告書は、そのまま税務署に提出(送付)することができます。

■所得税等の確定申告に関する問・申告書などの送付先

石巻税務署 〒986-0827 石巻市千石町2番35号

☎0225-22-4151(代表)

※確定申告に関する一般的な質問は、電話相談センターにつながります。音声案内に沿って「0」番を選択してください。

※所得税の還付申告(雑損失の繰越しや住宅ローン控除を受ける方など)は、税務署において2月16日(月)以前(平成27年1月5日~)でも行えます(税務署の閉庁日(土・日曜・祝日など)は、税務署では相談および申告書の受付は行っていません)。確定申告の相談および受付(2月16日~3月16日)が始まると確定申告作成会場が大変混雑しますので、早めの申告をお願いします。

■ 申告の際にお持ちいただくもの

◆事業所得(営業等・農業)、不動産所得があった方

- ・収入や経費などがわかる各帳簿・領収書および事前に作成した収支内訳書
- ※例年、申告会場へ領収書だけ持参し、申告受付時に収支内訳書を作成される方がいますが、事前に作成して来場ください。皆さんの待ち時間短縮にご協力願います。
- ※農業所得の申告で、「肉用牛の売却による課税の特例」(免税牛)の適用を受ける場合には、「肉用牛売却証明書」、生後1年未満の場合は「肉用子牛売却証明書」の添付が必要です。

◆給与所得、年金所得があった方

- ・平成26年分の源泉徴収票

◆次の領収書および証明書(平成26年中に支払ったもの)

- ア 生命保険料、個人年金保険料、地震保険料の支払い証明書
- イ 国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、国民年金保険料、介護保険料、その他社会保険料の領収書または証明書

◆医療費控除を受ける方

- ・医療費の領収書および保険などで補てんされた金額の明細書
- ※例年、申告会場へ医療費の領収書だけ持参し、申告相談時に計算される方がいますが、事前に集計して来場ください。皆さんの待ち時間短縮にご協力願います。

◆障害者控除をうける方

- ・障害者手帳または市で交付している「障害者控除対象者認定書」

◆その他お持ちいただくもの

- ・印鑑(認印可、ゴム印不可)および還付申告の方は口座番号がわかるもの
- ・翌年に繰り越される損失額がある場合は繰り越した額がわかる前年分の申告書の控え

まちの情報広場

問い合わせ 東松島市役所 ☎82-1111

代表FAX 0225-82-8143

〈東松島市内での固定電話の市外局番 0225〉

平成26年度原子力防災訓練のお知らせ

市では、宮城県およびUPZ(緊急時防護措置準備区域)圏内市町と共催し、原子力防災訓練を行います。訓練当日は、屋内退避訓練を行いますので、皆さんの参加をお願いします。

■日時 1月27日(火)8時30分～

※屋内退避訓練は、10時30分頃を予定しています。

■問 防災課危機対策班 ☎内線1164

平成27年東日本大震災東松島市慰霊祭

2011年(平成23年)3月11日に発生した東日本大震災(地震名:東北地方太平洋沖地震)により、多くの市民が犠牲になりました。市では、震災発生から4年となる日に、震災によりお亡くなりになられた方々の霊を慰めるため、次のとおり慰霊祭(無宗教、献花方式)を執り行います。

■開催日 3月11日(水)

■開催場所 東松島市民体育館(住所:東松島市小松字上浮足164、矢本第一中学校北隣)

※開催時間などの詳しい内容が決まり次第、市報などでお知らせします。

■問 総務課秘書広報班 ☎内線1212

若者の就職を支援します

就職活動に役立つセミナーと就職相談を行います。 ※参加無料、要予約。

■対象 39歳以下の求職者(フリーター・パート・アルバイト含む)

■日時 1月15日(木)・22日(木)・29日(木)

●就職支援セミナー 10時～11時50分

●就職相談 13時～・14時～・15時～(各50分程度)

■場所 1月から会場が変更になります。

宮城県石巻合同庁舎1階104会議室(住所:石巻市東中里1丁目4-32)

■定員 セミナー10人、相談各時間2人

■申し込み 事前に電話で申し込みください。また、内容など詳しくは、問い合わせください。

■問 みやぎジョブカフェ ☎022-217-3562

URL:<http://www.miyagi-jobcafe.jp/>

毎月11日は「市民防災の日(市民防災デー)」です

～宮城県北部連続地震から11年、東日本大震災から3年10カ月～

1月のテーマは、「家の中の安全対策の確認」です。

大きな災害が発生した際に、家具などが転倒し、けがをしないようにするためには、日頃から家の中の安全対策が必要です。家の中の危険を減らすことで逃げる際の安全確保にも繋がります。家具の転倒や落下の危険を減らし、安全対策に努めましょう。

■家の中の安全対策チェックリスト(左の欄に☑チェックを入れましょう)

家の中に逃げ場として安全な空間を作る	人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースが出来るよう配置換えをする。
寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない	就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは、逃げ遅れる可能性がある。
安全に避難できるように出入り口や通路には物を置かない	玄関などの出入り口までの通路に、家具など、倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろな物を置くと、いざという時に出入り口をふさいでしまうこともある。
家具は倒れにくいように置く	家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱に寄りかかるように固定する。畳の上に置く場合は、家具の下に板を敷く。

■家具の転倒、落下を防ぐポイント

- ・タンス、本棚：L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合は、つなぎ目を金具でしっかり連結しておく。
- ・冷蔵庫：2ドアの場合は、扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。
- ・食器棚：L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下に、軽い食器は上のほうに置く。
- ・テレビ：できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上は避ける)。また、テレビの上には、物を置かない。
- ・照明器具：チェーンと金具を使って数ヶ所とめる。蛍光灯は、蛍光管の両端を耐熱テープでとめておく。

■問 東松島市自主防災組織連絡協議会(事務局:防災課危険対策班)

☎内線1165

東松島市内の放射線測定

市では現在、市役所本庁舎西側通用口付近に、国の放射線測定可搬式モニタリングポストを設置していることから、この測定結果を掲載します。

空間放射線線量率調査結果(市役所西側通用口付近 地上1m:午前8時現在)

測定月日	12月12日	12月13日	12月14日	12月15日	12月16日	12月17日
測定値(単位:μSv/h)	0.032	0.032	0.031	0.033	0.032	0.04

※原子力規制委員会のホームページでリアルタイムの測定結果を公表しています。

URL:<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

■問 環境課廃棄物対策班 ☎内線1155

小正月の伝統行事「どんと祭」が、例年どおり開催されます。

どんと祭は、神社の境内などで正月飾りや古神符を焼き、御神火にあたることで、一年の無病息災・家内安全を祈願するものです。

◆どんと祭日程表◆

●例年、矢本運動公園で開催していたどんと祭(2011年はイオンタウン矢本北側で開催)は、今年も行いません。

下記の表の最寄りの神社へ、正月飾りや古神符を納めてください。

会場	地区	実施場所(住所など)	実施日	時間	問い合わせ
しらひげじんじゃ 白鬚神社	野蒜	宮司宅でお炊きあげを行います	1月7日(水)	16時～18時	白鬚神社 ☎88-2327
うみつみじんじゃ 海津見神社	野蒜			17時～19時	東名区長 平地富夫 ☎090-8253-6388
ながいしいなりじんじゃ 長石稻荷神社	新東名	旧佐幸内科跡地(新東名3丁目地内)		16時～19時	総代長 板垣和典 ☎87-2455
いすずじんじゃ 五十鈴神社	小野	小野字笹森2		16時30分～20時	どんと祭実行委員会(新山神社) ☎82-2591
にやまじんじゃ 新山神社	矢本・大塩	大塩字中沢上59		18時～19時30分	
かしまじんじゃ 鹿島神社	川下	川下字内響地内		18時～20時	
はちまんじんじゃ 八幡神社	上下堤	上下堤字八幡前10	1月11日(日)	18時～20時	八幡神社 ☎82-8345
いすずじんじゃ 五十鈴神社	大曲	大曲字寺沼地内(寿昌院北隣)	1月14日(水)	9時～15時	琴平神社 ☎82-4245
はちまんじんじゃ 八幡神社	赤井	赤井字館前127	1月15日(木)	7時～12時	八幡神社 ☎82-8345

市内各地区での開催は、下記日程表のとおりです。

なお、詳しい内容は、各主催者まで問い合わせください。また、ダイオキシン発生防止のため、飾りものなどからビニール、プラスチック類は取り除いてお持ちください。

今年一年の健康と安全を祈る

どんと祭

ともに復興へ

みんなが主役の

市民協働のまちづくり ⑬

■問 市民協働課協働推進班 ☎内線1281

第7回 各地域自治協議会・市民センターから「こんにちは」野蒜まちづくり協議会・野蒜市民センター

野蒜地域の自治会制度への取り組み

野蒜地域では「地区自治会制度実施のモデル地区」として、地区センターごとの自治会制度の導入を平成26年度から始めました。26年度は亀岡地区が「亀岡地区自治会」、中下地区が「のびる多面的機能自治会」とそれぞれの名称で、自治会制度を導入しました。その他の行政区の浅井、新町、大塚、新東名、東名でも29年度の自治会制度移行に向けて、地域住民の皆さんが一体となって話し合いを進めています。協議会の役員会でも、よりよいまちづくりを目指して随時会議を重ねています。

野蒜地域は東日本大震災の津波で甚大な被害を受け、住民の約8割が地域外への転居を余儀なくされました。そのため自治会制度移行に関する会議に出席できる方々も少人数になってしまい、他地区に比べて協議が難航しているのが現状です。

しかし、市民協働のまちづくりは、文字通り「市民が主体」となって進めるものです。住民が少ない中でも、地域の課題を隅々まで吸い上げ、皆が安心安全に暮らせる地域をともに創造していくことが求められます。野蒜地域では高台の集団移転地の造成も徐々に進んでおり、また27年6月には仙石線も復旧します。型にはまった従来のまちづくりではなく、柔軟な思考で、かつ地域で固い絆を育める、野蒜地域らしいまちづくりを実行していくことが大切です。

▶自治会制度の移行に向け、野蒜まちづくり協議会の役員会でも協議が進められています(11月21日野蒜市民センター)



「野蒜地区民スポーツ交流大会」で楽しいひととき

健康の維持増進と、住民同士の親睦と融和を図る「野蒜地区民スポーツ交流大会」が11月16日(日)、野蒜地区運動場で開かれました。若い世代から高齢の方まで、野蒜地区にお住まいの約80人が集い、グラウンドゴルフとペタンクの2種目に汗を流しました。和気あいあいと競技に臨む皆さんは笑顔にあふれ、会場は和やかな雰囲気になっていました。



▲グラウンドゴルフを楽しみながら親睦を深めました(11月16日)



■問 野蒜市民センター ☎88-2056

第1回くらっぱお楽しみ演芸会 「ニードル」&「笑福亭笑助」

- 日時 1月17日(土)10時30分～
- 場所 蔵しっくパーク「ひと・まち交流館」
- 出演者 東松島ふるさと復興大使のお笑い芸人「ニードル」凱旋公演
吉本興業東北住みます落語家「笑福亭笑助」応援出演
- 入場料 1,000円(小学生以上)。元気うどん付き、150枚限定
ひと・まち交流館で入場券を販売中(なくなり次第販売終了)
- 問 蔵しっくパークひと・まち交流館 ☎84-1770

第28回オール赤井凧あげ大会 開催のお知らせ ～君の手づくり凧で、赤井の空を彩ろう～

- 日時 2月1日(日)13時～
- 場所 赤井市民センター北側水田
- 内容 小・中学校の部、一般・団体の部で実施
- 参加料 無料
- 問 オール赤井凧あげ大会実行委員会
実行委員会事務局(赤井市民センター内) ☎82-2075



▲昨年開催の様子(2月2日)

あったかいホールからののお知らせ

チャレンジショップ(あったかいホール1階)では、地元の旬の野菜・海苔や手作り小物を販売しています。ぜひお越しください。

手作りチャレンジクラブ ※申し込みは電話受付。

★布草履教室

- 日時 1月17日(土)・22日(木) 13時～16時
- 材料費 500円

★楽しい手作り～ポーチ作り～

- 日時 1月27日(火)13時～16時 ■材料費 500円

★健康麻雀教室

- 日時 1月15日(木)・23日(金)・30日(金) 13時～16時
- 受講料 500円 ■定員 12人

「あったかいホール」開館時間のお知らせ

- チャレンジショップ(1階) 10時～16時、日曜休館
- ※あったかいホールは、祝日もお休みとなりました。
- 問・申し込み ☎98-6061 FAX:98-6062

親子凧づくり教室開催のお知らせ

仙台に伝わる子供凧「するめてんばた」を親子で作ってみませんか。そして、2月1日に開催される「オール赤井凧あげ大会」に出場してみましよう。

- 日時 1月17日(土)9時40分～
- 場所 赤井市民センター 多目的ホール
- 講師 仙台凧の会 会員の皆さん
- 対象 未就学児、小学生、中学生の親子
※小学5年生以上であれば、お子さんだけでも参加できます。
- 参加料 凧1個 600円
- 持ち物 新聞紙・ハサミ・筆記用具
油性マジック・うわぐつ
- 申込期限 1月9日(金)まで、下記に申し込み
- 問 赤井市民センター ☎82-2075



▲昨年開催の様子(1月25日、赤井市民センター)

CityView!



「CityView!」では、市のイベントや地域的话题を、皆さんにお届けします。
 <掲載した写真は、データで提供します。希望の方は問い合わせください。>

第4回「環境未来都市」構想推進国際フォーラム 東松島一新 3DAYS



1st Day
 12/5



東北の復興願いシンポジウム

3DAYSの初日は、他県の自治体職員や東松島みらいとし機構(愛称:HOPE)会員、市民などに復興のまちづくりを学んでもらう被災地視察ツアーや、未来の防災・減災について考える「東北復興シンポジウム」などが行われました。シンポジウムでは、県内外の環境未来都市に選定された被災沿岸部6自治体が、それぞれの復興まちづくりの取り組み状況を報告したほか、国立環境研究所社会環境システム研究センター長の藤田氏が「東北の復興が導く環境都市成長への期待」と題して講演を行いました(12月5日、市コミュニティセンター)

内閣官房などが主催する第4回「環境未来都市」構想推進国際フォーラムに合わせ、市は12月5日(金)~7日(日)に「東松島一新 3DAYS」を開催しました。「あの日を忘れず ともに未来へ」をテーマに多彩なプログラムを通して、東日本大震災からの復興と安心安全で持続可能なまちづくりの取り組みなどを世界に発信しました。

2nd Day
 12/6



災害に強い
 まちづくりを

「環境未来都市」構想推進国際フォーラムでは、都市システムなどの機能を強化し新しい価値を見出す「レジリエンス向上と環境未来都市」をテーマに基調講演や全体セッションなどが行われました。このうち全体セッションには、阿部秀保市長やインドネシアのバンダ・アチエ市のイリザ・サーアデュテイン・ジャマル市長、都市計画などの専門家がパネリストを務め、意見を交わしました。

会場外では震災当時のまちの様子を収めた写真パネルの展示なども催されたほか、地場産の食材を使ったカキ汁やノリ汁、焼きガキなどが振る舞われ、来場者に喜ばれました(12月6日、市コミュニティセンター)

3rd Day
 12/7



中学生からの提言

「夢のあるまちづくりフォーラム」では、矢本第一、矢本第二、鳴瀬未来中学校から代表生徒が未来に向けたまちづくりを提言しました。生徒たちは、豊かな自然と歴史、夢のあふれるまちについて、それぞれ若い視点と発想で発表を行い、地域を盛り上げていくためのさまざまな将来像を提言しました(12月7日、小野市民センター)



▲焼きガキやのり汁が来場者を温めました



▲さまざまな国の方々が参加し、フォーラムに耳を傾けました

▲会場には市の地場産品販売コーナーも催されました